

巻 頭 言



沖縄県知事 玉城 デニー

世界に広がるウチナーネットワークの 継承と発展を目指して

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら（皆様、こんにちは）。

沖縄県では平成22年3月、県民が望む沖縄の将来像を示した「沖縄21世紀ビジョン」を策定し、地理的特性を活かして、ヒト・モノ・文化など多様な交流が盛んな沖縄、「世界に開かれた交流と共生の島」を目指しております。

この「沖縄21世紀ビジョン」の実現に向け、本土復帰から50年を迎えた令和4年5月に「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、沖縄が諸外国・地域との交流と連携を深めながら共に発展していくため、世界で活躍している県系人に加えて「沖縄」をキーワードに集う各界各層の関係者を取り込んだ世界に広がるウチナーネットワークの継承と発展に向けて、様々な施策を推進しています。

その代表的な取組として、平成2年の第1回大会開催以降、約5年おきに継続して開催している「世界のウチナーンチュ大会」があります。

令和4年10月に開催された第7回大会では、新型コロナウイルス感染症が影響する中、海外から約1,800人、県外から約1,800人に参加いただきました。また、来県がかなわない国内外のウチナーンチュも参加できるようオンラインを最大限活用し、大会期間中延べ約14万人の方に視聴していただきました。

世界の各地から集まったウチナーシンカ（沖縄の仲間達）が一堂に会し、大会を通じてユイマール（お互いに助け合うこと）、ヒヤミカチ（困難に打ち克つ精神）、チムグクル（温かい愛情のある心）、そしてヌチドゥタカラ（命を大切にす魂）の精神を今一度確認し、ウチナーネットワークの絆を深め、未来の世代へ繋いで行くことができました。

今年度は、大会の成果を踏まえ、ウチナーネットワークを次世代に継承し、更に発展させるため海外キャラバンを実施しており、海外県人会や姉妹都市等を訪問し、記念式典への出席や移住功労者への感謝状贈呈により県系人を労うとともに、県人会や県系企業等との交流・意見交換を行っております。

沖縄県としましては引き続き、世界に広がるウチナーネットワークを基軸とする人的ネットワークの更なる発展と次世代への継承を図るとともに、様々な分野における多元的な交流の推進を通じて、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成を目指してまいります。

今後とも、関係各位の皆様のお支援と御協力をお願い申し上げます。

ゆたさるぐとぅ うにげーさびら（よろしく申し上げます）。